

国土交通省道路局長

佐藤 信秋 様

提 言

北海道建設部長  
岩手県県土整備部長  
秋田県建設交通部長  
福島県土木部長  
石川県土木部長

青森県県土整備部長  
宮城県土木部長  
山形県土木部長  
富山県土木部長  
新潟県土木部長

## 高速道路の総合評価手法の評価指標に関する提言書

今後整備する高速道路に優先順位をつける評価手法は、整備手法や整備速度に大きく影響し、多軸型国土の形成、地域の発展や県民の生命に直接影響を及ぼすものとなるため、評価手法は体系的に整理され、地域の特性を十分踏まえた公正なものとする必要がある。

特に、積雪寒冷地では「冬期の旅行速度が極端に低下し、産業活動に影響を及ぼしているため、冬期旅行速度低下率を考慮すべき」と思われるものの、これに対して単に「全国データが整備されていないため、センサスの旅行速度を用いる」としたことは、実態に即しておらず、公正な評価とは思われない。

よって、積雪寒冷地が国土の約 60%、市町村数の約 40%、人口の約 20%を占めるという実態を正しく認識し、改めて次の事項に留意しながら十分検討されるよう提言する。

### 1 評価指標について

1) 積雪寒冷地においては、「現況でのアクセス時間」の算出にあたっては、既存の冬期センサス資料を用い、現道の冬期の旅行速度低下を考慮して評価すべきである。

2) 採算性及び波及的効果については9, 342 kmのネットワークで評価することも検討しているようであるが、高速道路はネットワーク化されてこそ本来の機能を発揮する。

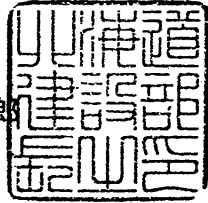
したがって、全ての指標を11, 520 kmのネットワークで評価すべきである。

### 2 地方公共団体への説明について

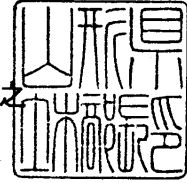
総合評価手法における重み付けの決定にあたり、地方の意見をどのように反映させたのか、地方に説明すべきである。

平成15年7月8日

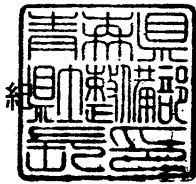
北海道建設部長  
山上 徹郎



山形県土木部長  
坂之井 和之



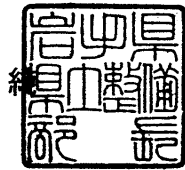
青森県県土整備部長  
後藤 正



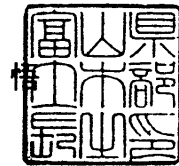
福島県土木部長  
雨宮 宏



岩手県県土整備部長  
猪股



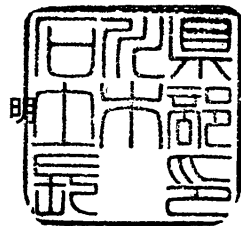
富山県土木部長  
森岡 秀



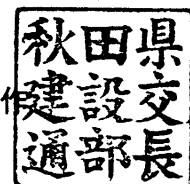
宮城県土木部長  
齋藤



石川県土木部長  
福本 俊



秋田県建設交通部長  
越後谷 康



新潟県土木部長  
島原 利

